

石の宝殿への一本道



令和6年



年代不明（昭和30年代頃か）



昭和30年代

加古川・高砂の昭和
提供：梶原氏（右写真）

一本道は大正天皇（皇太子時代）が、石の宝殿行啓のとき造られた。同道が島中央交差点付近から左へカーブしているのは今と同じである。同所は、田は宅地化され、都市化へと急激に変貌している。河川は治水対策が施され、一本道を横切る法華山谷川は、なだらかな自然堤防が高い強靱な堤防へと進化している。安全で便利な街へ発展した光景である。なお、記念碑は生石神社の麓と展望台に建立されている。



山上公園の記念碑
昭和55年6月建立



明治42年4月12日演習
大正天皇（皇太子時代）行啓記念碑